

米奥小だより

令和6年10月18日(金)

No.25

米奥小学校 校長 北添 忠

〇習字指導

今年も、3～6年生が習字の指導を地域の方から受けています。今は、子ども県展に応募する作品を頑張って書いています。学年が上がるにつれて、力強い筆遣いの作品から、丁寧さが要求される作品へと変わっていきます。一人一人の字には個性があり、「きれいな」とか「流れるような」とか「個性があふれ出る」とかいろいろな表現ができるものばかりです。大人が期待する作品になっているのは一部かもしれませんが、一人一人の作品が一点物であり、魅力があると思いついていました。



〇遠足に行ってきました。

代休も含め4連休が明けた10月16日(水)に、遠足に行ってきました。まず、四万十市にあるトンボ公園へ行き、「生き物探しゲーム」に取り組みました。レベル1からレベル5までの生物を制限時間内に探してくるゲームです。児童らは図鑑を見





て確認した後、自然の中で生物を探していました。その後、館内で展示物の見学をし、環境と生物についての講話を聞きました。

昼食は黒潮町の砂浜で食べました。天気予報は「くもり」となっていたにも関わらず、浜は「時々晴れ」の天気。少し暑かったですが、食事をすませ、その後は波とたわむれたり、砂に絵を描いた



り、サンドアート(?)を楽しんだりとさまざまでしたが、皆一様に笑顔でした。最後に砂浜でレクをして、すべての日程終了。周りにはサーフィンを楽しんでいる人もおり、学校を離れての非日常を楽しんだ一日となりました。

